

地球温暖化基礎知識



最近、「地球温暖化」に関係した言葉を耳にすることはありませんか。でも、よく耳にする言葉でもハッキリわからないと思っている方も多いと思います。そこで今回は、その言葉を取り上げ簡単に説明します。言葉の意味を知って「地球温暖化」防止に関心を持ちましょう。

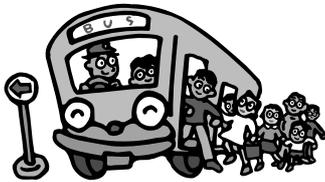
アイドリング・ストップ

自動車の停車時にエンジンを切ること。 unnecessaryな燃料の消費を抑え、二酸化炭素の排出を抑制することがねらい。



パーク・アンド・ライド

マイカーの市街地への乗り入れを抑制し、都市の慢性的な交通渋滞を緩和するための制度。自宅から乗ってきた車を、途中で駅周辺の駐車場に停めてもらい、バスや電車などの公共交通機関への乗り継ぎを促そうというものです。パーク・アンド・ライドは、1980年代からドイツのフライブルグ市で導入され始めたのが始まり。日本でも、金沢市や広島市などで試行されているほか、東京都、大阪府、名古屋市などの大都市でも実験が相次いでいます。



ゼロエミッション

産業廃棄物を再利用することで廃棄物のない社会を目指すという意味で「廃棄物ゼロ」と訳されています。(完全循環型社会システムの構築)



地球温暖化防止シンポジウム 開催

ヴォーリス建築から学ぶ自然を生かした住環境づくり

ヴォーリスの建築といえば、地元滋賀県のヴォーリス記念病院は言うに及ばず、東京や大阪近郊大都市での大学やホテル、デパートといった大規模建築のいくつかが思い浮かびます。

また、その一方各地域では、数百棟にのぼる洋風住宅のほか、軽井沢では別荘住宅があることは意外と知られていません。

「建物の風格は人間の人格と同じく、その外見よりもむしろ内容にある」(W.M.Vories & Company Architects '昭和12年'より)とヴォーリスは言っていますが、ヴォーリス建築の本質は、際立ったデザインや空間表現を備えた芸術作品としてではなく、自然を最大限生かした健康的な住空間にこそあるといわれています。

設備依存型といわれている現代建築に対して、ヴォーリスの建築は、たとえば軽井沢の建築に見られるように、木造を主体とし空調設備は作らないといったような、その土地の自然環境を考慮した近代建築であるといえます。

採光や通気の工夫、感動を覚えるような収納の設備、自然と共にある「住空間」の話にあなたも耳を傾けてみませんか。古き良き時代の住宅の扉をぜひ開けてください。

- 日 時 / 平成15年10月5日 13:00 ~ 14:30
- 場 所 / 滋賀県立県民交流センター (ピアザ淡海内)
(大津市におの浜1-1-20)
- 講 師 / NPO法人ヴォーリス建築保存再生運動「一粒の会」会長 石井 和浩
- 定 員 / 100名
- 参加費 / 無料
- 主 催 / 滋賀県地球温暖化防止活動推進センター、NGO環境しがの風

